

第2回 妹背牛町立小中学校及び町民会館施設整備検討委員会

日 時 令和4年8月23日（火）
午後2時～

場 所 妹背牛町総合体育館研修室

1. 開 会

2. 諮 問

3. 報告事項

- ① HP への検討委員会資料・会議記録の掲載について
- ② 検討委員会だよりの発行について
- ③ 広報9月号への掲載について
- ④ 赤平小中学校及び石狩市立厚田学園の視察結果について
- ⑤ 北海道教育庁との打合せ結果について

4. 現地視察

- ① 小学校
- ② 中学校
- ③ 高校跡地
- ④ 町民会館

5. 協議事項

- ① 建設候補地について
- ② 学校施設の複合化について

6. その他

※次回の日程

令和4年10月 日（ ） 午後2時～

学校施設の複合化・プロポーザル方式の導入について

妹 教 委 号
令和4年8月23日

妹背牛町立小中学校及び町民会館
施設整備検討委員会 御中

妹背牛町教育委員会
教育長 石 井 美 雪

諮 問 書

妹背牛町立小中学校及び町民会館（以下「施設」という。）の老朽化により、安心・安全な施設のあり方について、妹背牛町立小中学校及び町民会館施設整備検討委員会設置要綱第2条の規定により、次の事項について諮問いたしますので、ご審議賜り答申いただきますようお願い申し上げます。

1 諮問事項

- ① 建設候補地について
- ② 学校施設の複合化について
- ③ プロポーザル方式の導入について

2 諮問理由

本町では、第9次妹背牛町総合振興計画に基づき施設の老朽化に伴い、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具現化する施設環境の整備が急務となっています。

また、少子化の加速により児童生徒数が減少し、小学校から中学校へスムーズな接続を行うためにも、小中学校の統合校舎を取り入れ、町民会館については地域のコミュニティーの拠点であることから、地域住民と連携・協働していく「共創空間」の整備が必要であると考えられます。

さらに、バリアフリー化や脱炭素宣言の町として二酸化炭素の削減に向けた取組も重要となります。

これらのことから教育委員会といたしましては、今後の施設の望ましいあり方について、具体的な方策等を検討していただきたく諮問いたします。

**妹背牛町立小中学校及び町民会館
施設整備検討委員会だより
第1号 令和4年8月15日発行**

～子どもたちがいきいきとする環境の創造を目指して！～

第1回目となる「妹背牛町立小中学校及び町民会館施設整備検討委員会」（以下「検討委員会」）を、6月21日（火）に総合体育館研修室で開催しましたのでお知らせいたします。



🏠 検討委員会の目的

この検討委員会では、施設の老朽化により安心・安全な施設整備のあり方について検討することを目的に、建設候補地・複合施設等について協議をしていきます。

🏠 検討委員会の委員の皆さん(敬称略)

学識経験者	牛田 克彦	企画振興課長	廣澤 勉
学識経験者	宗本 和博	建設課長	西田 慎也
小学校校長	新保 秀樹	健康福祉課参事	廣田 龍子
中学校校長	奥山 直人	建設課建設G主幹	町中 裕二
地域教育推進専門員	辻 博及	教育課長【事務局】	山下 英俊
1区連合会会長	竹山 忠志	学校教育G主幹【事務局】	川上 善樹
総務課長	北口 信彦	学校教育G主幹【事務局】	下谷 順

🏠 第1回検討委員会の内容

委員へ委嘱状の交付、自己紹介の後、事務局より設置要綱、これまでの経過、今後の建築までのスケジュール等について説明を行いました。

委員からは、町民が何を望んでいるのか、町民の意思が一番大事であること。膨大な建築費の対応として、あらゆる補助金等を駆使すること等、多くの意見が出されました。



検討委員会の様子

★会議の配布資料や議事要旨は、町HPに順次掲載します。

検討委員会での質疑（抜粋）

Q1. プロポーザル方式というのは、どういうものでしょうか？

A1. 主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定するという方式になります。最近はこの方式が多く、本町の HP 策定業者を選定する際にも、このプロポーザル方式で行っております。

Q2. 建築スケジュールの関係ですが、最終的な予定用途はいつ頃を考えていますか？

A2. 第9次総合計画の中では、令和6年に基本設計、7年に実施設計を行って、8年9年で建築を行い10年に開校という予定になっております。状況によって時期が前後する可能性もありますが、令和10年4月が開校の用途となります。

Q3. 統合校舎ではなくて、小学校・中学校単独で校舎を建てるという考え方はないのですか？

A3. 基本的にはそれは考えておりません。第9次計画では、統合校舎ということであげておりますので、統合校舎で進めていこうと考えています。

Q4. 負担金の関係ですが、数年前に隣町が中学校に小学校を併設したと思います。その時の関係者に話を聞いたところ、過疎債の制度があって町の持ち出しを極力抑えることが出来たと言っていました。今回の建築にあたりどのように考えているのでしょうか？

A4. 負担金をはじめ、過疎債との組み合わせも考えています。いずれにしても今の段階では勉強不足なので、道の施設担当者に聞くなどして準備を進めていきます。

第2回検討委員会の開催



- ・日 時 令和4年8月23日（火）14時～ ・場 所 妹背牛町総合体育館研修室
- ・内 容 現地視察 建設候補地及び複合施設の協議

【事務局】

妹背牛町教育委員会 教育課学校教育グループ

〒079-0500 雨竜郡妹背牛町字妹背牛 5208 番地の1

TEL : 0164-32-2525 FAX : 0164-32-2828

E-mail : kyoikuiinkai@town.moseushi.lg.jp



本町では、小中学校の老朽化・少子化に伴い、令和10年4月に、小学校・中学校を1つにした統合校舎による新しい学校の開校を予定しています。

この事業は、本町の10年後20年後を展望したものであり、さらに児童生徒の減少に伴う「切磋琢磨」の機会を持続可能にする構想でもあります。

開校に向けて、6月28日に第1回妹背牛町小中一貫教育検討委員会が開催され、委員会の目的と内容の確認を行い、今後は「小中一貫教育制度の導入および学校形態」について協議検討を行っていくこととしました。

6月28日の検討委員会



「小中一貫教育制度」は、義務教育9年間で「めざす15歳の子どもの姿」を共有し、子どもの発達段階に応じた指導を行っていくというものです。

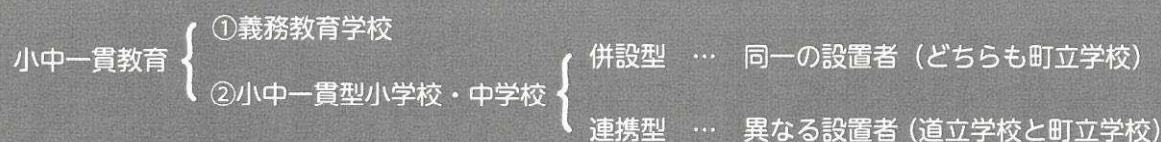
これまでは、「小学校6年間」「中学校3年間」という枠組みで学ぶことが当たり前とされてきましたが、その中で、「義務教育期間における子どもたちの心身の発達の早期化・著しい価値観の変化」や「中1ギャップ」といった、現在の枠組みでは対応しづらい課題が出てきており、これらの課題に対処するため、弾力的で柔軟な教育課程編成に取り組むことができる「小中一貫教育制度」を導入し、これからの子どもたちの成長を途切れさせることなく、連続した9年間を一体的にとらえた、つながりのある教育を行っていきたいと考えています。

小中一貫教育とは・・・

小・中学校段階の教員が義務教育9年間を通じてめざす子ども像を共有し、それぞれが果たすべき役割とチームワークを最大限に発揮して、学習指導や生活指導を行う教育です。

9年間を見通した系統的な学びによって学力の向上が期待されます。

小中一貫教育を行う学校は、「①義務教育学校」と「②小中一貫型小学校・中学校」に分けられ、さらに②は「併設型」と「連携型」に分けられます。連携型は異なる設置者になるため、本町では「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校 併設型」のどちらにするか、検討していきます。



義務教育学校とは…

一人の校長の下で一つの教職員組織が、一貫した教育課程を編成・実施する9年制の学校です。前期6年と後期3年の課程に区分され、それぞれ小学校および中学校の学習指導要領が準用されます。

校長室

職員室

1年生から9年生までの児童生徒が一つの学校に通うという特性を生かし、9年間の教育課程において「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定することが容易になります。そのため、各課程の最終年次に「節目の終了行事」を設けることにより、保護者の皆さんが心配されている「メリハリ」や「けじめ（区切り）」への問題は解消されます。

英語 数学



また、副校長（教頭）は3人となります。総括担当の副校長を置かずに普通教員に切り替える事により、複式学級^①を回避することが可能です。小規模校に多く見られます。

懸念されている小中両方の免許状を保有している教員確保の問題では、当分の間は併有しなくても良いことになっています。

6月21日の検討委員会



小中一貫型 小学校・中学校（併設型）とは…

同一の設置者で、それぞれの学校に校長と教職員組織があり、既存の小学校および中学校の基本的な枠組みは残したまま、義務教育学校に準じた形で9年間の教育目標を設定し、系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校です。

小学校は6年、中学校は3年の修業年限ですが、小中一貫教育を行うためにふさわしい運営上の仕組みが整えられていることから、9年間一貫した指導を実施したり、「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定するなどの取組が、通常の小中学校と比較して容易になります。

①複式学級とは…

2つの学年で構成される学級のことであり、異なる学年が同じ教室で授業を受けるため、一方の学年が先生から直接指導を受けている間、もう一方の学年は課題学習することになります。本町では令和8年度から複式学級になる可能性があります。

- ・小学校～2つの学年の児童の数をあわせて16人以下（1年生を含む場合は8人以下）
- ・中学校～2つの学年の生徒の数をあわせて8人以下

※6月21日には、第1回妹背牛町立小中学校及び町民会館施設整備検討委員会を開催し、建設候補地などの協議検討を重ねております。
◎両検討委員会の配付資料や議事要旨については、妹背牛町HPからご覧になられます。

【義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校〔併設型〕の要件】

	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校〔併設型〕
修業年限	9年 〔前期課程6年+後期課程3年〕 (4-3-2)や(5-4)などの区切りも可	小学校6年・中学校3年
組織・運営	1人の校長 ----- 総括担当 1人 副校長3人 前期(小学校籍)1人 後期(中学校籍)1人 ----- 1つの教職員組織	それぞれの学校に校長 ----- それぞれの学校に教頭 ----- それぞれの学校に教職員組織
免許	原則、小学校・中学校の 両免許状を併有 ※ ※ 当分の間、小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能。	所属する学校の免許状を保有
教育課程	・9年間の教育目標の決定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成	
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型	

【視察結果】

令和4年7月28日(木) 妹背牛町教育推進協議会 学習環境部会

☆赤平小学校 9時40分～11時15分

令和4年4月6日開校(旧赤平中学校跡地)

説明者 教頭 菅原 一毅 氏 事務職員 山村 勇貴 氏

出席者 妹背牛小学校 校長 新保 秀樹 氏 事務職員 山下 寛仁 氏

教諭 工藤 知子 氏 教諭 荒木 智子 氏

妹背牛中学校 校長 奥山 直人 氏

教育委員会 主幹 川上 善樹 主幹 下谷 順

☆赤平中学校 11時20分～12時

平成30年8月20日開校(旧赤平高校跡地)

説明者 教頭 松田 淳二 氏

出席者 赤平小学校と同じ

【赤平小学校】

- ・支援学級 廊下から教室内が見える(ガラス透明) すりガラスが望ましい。
トイレあり(3つ)、シャワー室あり。
- ・通級学級 廊下から見えるガラス(当初透明)にモザイクシートを貼った。
- ・車庫(バス2台)に発電機(100LSD)あり。
- ・学校の赤いコンセントが発電機用。
- ・体育館 校舎の中央にあり(2階から体育館を見られる場所、危険のため立ち入り禁止にしている。設計上は立ち入れる場所としていた)
- ・ステージに巨大スクリーンあり。体育館で撮影した動画を各教室でも見ることが出来る。
- ・全箇所、手洗い場が低い。防災備蓄庫あり(現在は在庫なし)
- ・給食運搬の動線がいい。(トラック運搬場所からまっすぐのところにエレベーターあり)
- ・鍵のかかる箇所(非常口)や、セキュリティー確認した方がよい(脱走する児童がいる)
- ・職員室・普通教室・特別支援教室・保健室にはエアコンが設置されているが、特別教室(理科室・音楽室・家庭科室)には設置されていない。エアコンはあった方がよい。
- ・学童は民間(シダックス)に委託。指定管理者。学童を学校に置くなら、学校側に入れられないような配置・設備にする必要がある。

【赤平中学校】

- ・防災備蓄庫あり（在庫たくさんあり 毛布・水・テント）
- ・傾斜地に建築（整地に3億円）
- ・光熱費：電気代30万くらい（エアコンも使って）
- ・暖房は灯油。冬の灯油代がとても高いらしい
- ・エアコン室外機 冬の雪庇で壊れる位置にある
- ・教室は、小学校より広い
- ・体育館、3階から渡り廊下

○出席者より

- ・古い郷土資料など置く場所をどうするか？
- ・教室のコンセントは多い方がよい（赤平小は4隅にコンセントあり）
- ・相談室は、廊下から見えない方がよい（赤平小はモザイクガラスだった）
- ・校舎一緒ならチャイムはどうするのか？
- ・体育館も1つじゃ足りない（雨竜も大きめだけど、授業で困るらしい）
- ・支援の教室も今後の人数はわからないけど、最低3つは必要

新生「赤平小学校」開校



赤平小学校の校章

赤平小学校外観



茂尻小・豊里小・赤間小が統合し、赤平小学校となりました

令和4年4月6日、茂尻小学校、豊里小学校、赤間小学校の歴史を継承し、新生「赤平小学校」が開校します。

スタートの全校児童数は14学級で約250名の学級編制となります。

今年の2月26日には、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで内覧会が実施され、一足はやく校舎を見学した子どもたちが嬉しそうに校舎内を駆け回る姿が見られました。

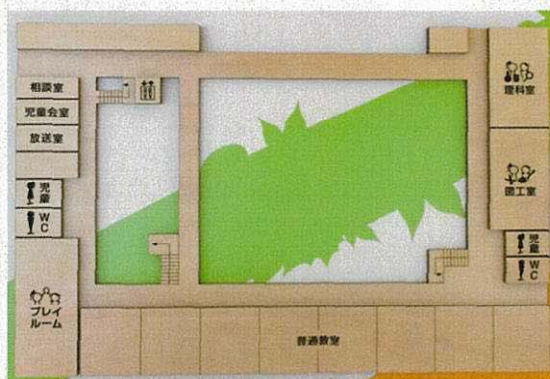
また、当日は子どもたちだけでなく、一般の方も多く訪れ、これからの将来を担う子どもたちが通う校舎を見学しました。

学校内に取り付けられた木製の案内板

1階



2階



自然光が入る明るい教室



清潔感のある家庭科室



機能的な理科室

広報広聴係 新校舎の取材を通して

新校舎で目を引くのが、なんといっても校舎中央に位置する体育館です。児童玄関を抜けると、まず体育館が目飛び込んできます。

体育館は建物の中央にありますが、自然の光をふんだんに取り込むことができ、学校全体を明るくする構造になっています。

玄関ホールにはほかにも、2階へ上がる階段、そして図書室やP.C室、視聴覚室などの機能を集約した「メディアセンター」が正面にあり、開放感あふれる印象となっています。（表紙の写真が児童玄関から撮影した写真です）

小学校の新校舎建設には、市内の建設事業者さん・電気設備屋さんはもちろん、校舎各所のデザインや床材や壁材、家具や手すりに至る細部まで赤平市に関係するさまざまな方々が関わって完成しました。校舎自体が、子どもたちに赤平市のことを知ってもらいたい教材だと感じました。（なんと、教室の表示などに使用された木材は、もともと旧赤平中学校の敷地に植えられていた木から作られているそうです！）

市内企業の技術が随所に！

体育館の床や壁面



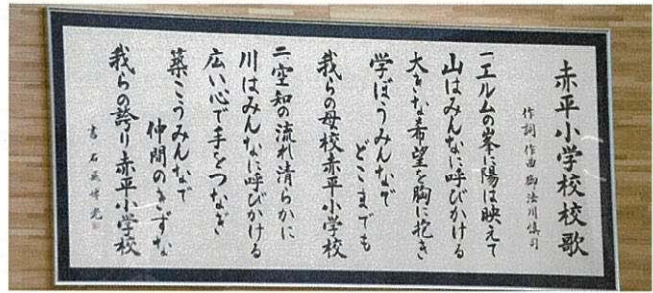
手すりに使用されている
革製の滑り止め



教室などの表示



中学校に続き、小学校でも赤平出身の書家、石飛博光氏が校歌や校門などで筆を振るってくださいました！



新設される「放課後子供教室」に
使用される学習室
※写真は、内覧会よりも前のため、家具類は写っていません。

スクールバス運行時刻表



住吉町・共和町方面

7時36分	ヤマト石材
7時40分	ペットショップ アイ付近
7時44分	住吉339番地
7時49分	共和町131番地
7時52分	共和町332番地
7時53分	共和こぶし会館付近
7時54分	共和駐在所前
7時57分	幌岡町17番地
8時01分	赤平中学校 路線バス バス停付近
8時03分	新小学校 到着

茂尻・住友方面

7時40分	平岸桂町 路線バス バス停付近
7時43分	旧茂尻小学校
7時46分	茂尻駅前
7時50分	福栄団地1号棟横
7時53分	東おおまち歯科前
7時56分	赤平駅前 高速バス乗り場付近
8時03分	新小学校 到着

美園町～昭和町方面

7時50分	ファミリーショップ美園 郵便ポスト横
7時53分	麻生電設前
7時58分	昭和町 路線バス バス停付近
8時03分	新小学校 到着

百戸町方面

7時43分	平岸東町 路線バス バス停付近
7時44分	平岸駐在所
7時45分	平岸薬局前
7時47分	平岸西町直売所前
7時53分	虹の里(百戸町)前 道路付近
8時02分	新小学校 到着

赤平中学校 新校舎スタート

8月20日(月)、市内小中学校で2学期の始業式が行われた日。赤平中学校では、新校舎の本格的な利用が始まりました。当日は徒歩や自転車、バスで、新校舎に向かつて続々と生徒たちが登校。新しい学校を見上げて、自然と笑みがこぼれました。

始業式では石成牧子校長から「新校舎は多くの費用と、たずさわった方々の知恵と努力によってつくられました。中学校が統合で1校となり、将来の中学生は必ずこの学校に通います。大切に大切に、未来に引き継いでほしいと思います。」とお話しがありました。生徒代表も「過ごしやすい環境になりました。充実した学校生活を送りましょう。」と呼びかけました。

校舎内は広くゆとりとしたつくりで、みんなで集まることのできる小さきさまざまなホールが設けられています。図書室や家庭科室などは壁を取り払って開放的な使い方ができます。生徒の皆さんには、校舎のスペースを活用しながら、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。

赤平中学校
平面図



体育館棟にある家庭科室
災害時の炊き出しも想定



↑木のぬくもりを感じる教室
↓赤平をイメージした表示



7月25日(水)1学期終業式 旧校舎最後の日

終業式。旧校舎に登校する最後の日です。前日には大掃除をして、数々の思い出が残る校舎にお礼をしました。終業式後も生徒たちが備品の移動に協力してくれたおかげで、引っ越しの準備は順調に終わりました。



1階から3階までまっすぐ続く階段

2階大ホール

エントランスホール



7月29日(日)内覧会 新校舎一般公開

内覧会にはおおよそ320人の市民が訪れました。担当者から熱心に説明を聞く人、自由に見て回る人。皆さんが新しい校舎への関心と期待感を持って見学されているのが伝わりました。



体育館での始業式



技術室
いろいろ触ってみたい



渡り廊下
次の教室は何か



2階大ホール
新校舎での注意点は...

8月20日(月)2学期始業式 新校舎での生活がスタート

始業式の後、各学級で担任の先生の案内で校舎内を回り、どこに何の教室があるか、トイレの場所、ホールの使い方などを確認しました。校舎全体を回った後、最後に着いた体育館から「教室までの最短ルート」を考えながら帰っていく様子が新鮮で、ほほ笑ましく思いました。

【視察結果】

令和4年8月9日(火) 10時～11時30分 妹背牛町教育推進協議会 学習環境部会
☆石狩市立厚田学園(義務教育学校) ・令和2年4月6日開校

説明者 校長 岡山 拓氏 教頭(前期課程) 橋本 好史氏
教頭(後期課程) 種村 泉氏

出席者 妹背牛小学校 教頭 渋谷 憲一氏 事務職員 山下 寛仁氏
妹背牛中学校 校長 奥山 直人氏
教育委員会 課長 山下 英俊 主幹 川上 善樹

Q.新築とあるが、この学園を建てる前はこの場所に何か他の施設が建っていたのか？それとも更地だったのか？体育館だけ改修になっているが、これは前の学校の体育館を改修したのか？

A.厚田中学校の校舎を解体して、そこに新築した。体育館は中学校のものを改築。主に床の張替や照明をLED化した。

Q.学年割については「4-3-2」でやっているが、最終年次に区切りとしてどのような儀式をしているのか？

A.6年修了時に「前期課程修了証書授与式」を行っている。

Q.複式学級はあるか？何クラス？

A.「3・4年生」と「5・6年生」の2クラス。

Q.厚田学園の教諭たちの中で、小学校・中学校 両方の免許を持っている方は何割くらいいるか？小学校と中学校の先生は、開校後すなりお互いに溶け込めたか？

A.小学校の教諭は中学校の免許を持っている人が多いが、逆はほとんどいない。開校前に1年間、仮の学校で過ごしてきたので、特に揉めることもなくスムーズに入れた。

Q.防災備蓄庫に現在どれくらいの備品があるのか？

A.5年間保存の水や段ボールベッド、ストーブ、ワンタッチテントなど多数ある。

Q.授業時間は小学校45分、中学校50分だと思うが、チャイムはどのように対応しているか？

A.前期課程も後期課程も授業時間は50分となっている。チャイムはノーチャイム。

Q.エアコンの設置状況は？

A.サーバー室以外、保健室も含めどこにも付いていない。他の石狩市の学校に付いている学校がないのに、厚田学園だけ付けるわけにはいかないとの行政の判断。

Q.トイレは全て洋式か？

A.全て洋式。

Q.特別支援教室は、今何クラスある？教室は間に合っている？

A.現在前期課程で1クラスのみ。全体としては2教室を確保しているが、今は使っていない教室を放送室として使っている。

Q.保護者の開園後の反応は？

A.地元の期待感が大きい。地域の起爆剤になっているし、教諭の資質向上にもつながっている。

Q.学校の形態は、最初から義務教育学校で話を進めていたのか？

A.施設の老朽化と児童生徒数の減少が年々深刻な状況になっており、平成26年に検討委員会を立ち上げ、その中で協議決定してきた。

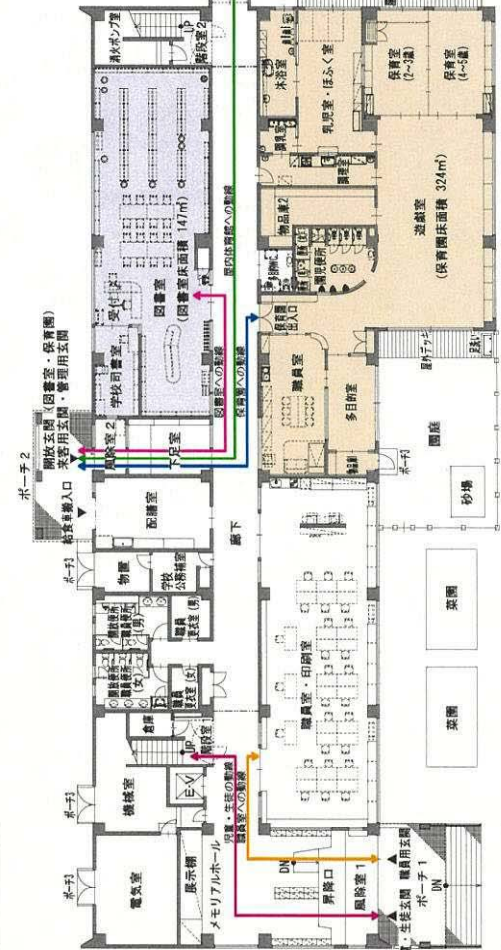
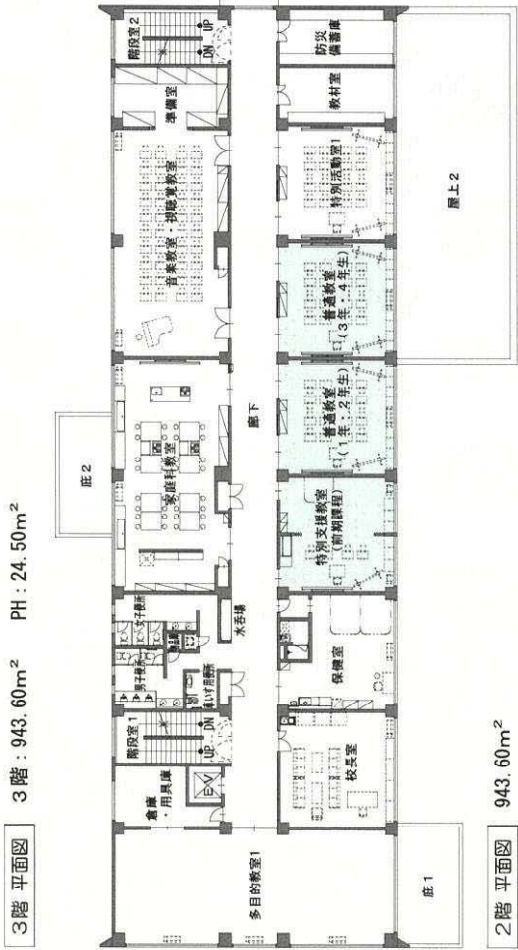
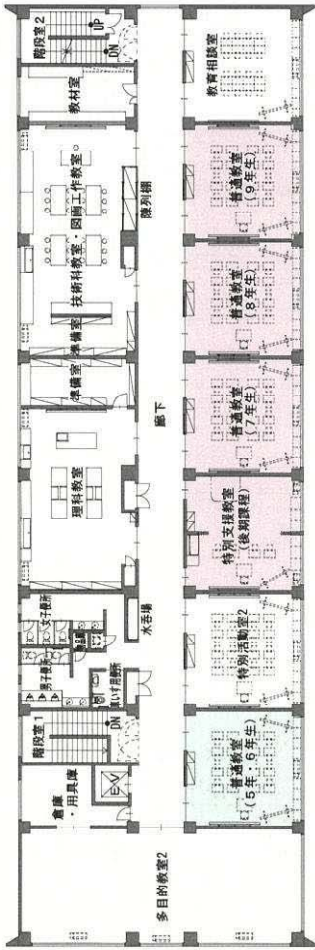
Q.図書館や保育園とのセキュリティはどのようになっている？

A.裏の玄関にそれぞれインターホンが付いていて、それを押して中で確認をしてからドアロックを解除している。図書館は、学校の児童生徒も一般市民も利用出来るようになっている。

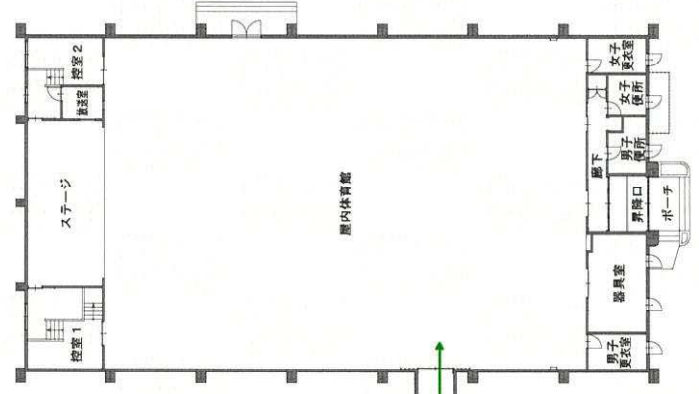
厚田学園 建設工事概要

敷地概要		工事概要	
所在地	石狩市厚田区厚田171番地1の内地	工期	平成30年9月27日から令和2年1月31日
敷地面積	7,792.53m ² (グラウンドは除く)	設計・工事監理	株式会社 サン設計事務所
法規制内容	都市計画区域外	校舎棟建設工事	建築 三津橋・榎本・三和・佐藤特定共同企業体 電気 北弘電・治田・クリヤ特定共同企業体 機械 恒豊設備・石狩管工・工藤興産特定共同企業体
		屋体補修改修工事	建築 酒井・半澤特定共同企業体 電気 株式会社 シグマ通信電気 機械 株式会社 WAKOU

建築概要			
工事種別	校舎 (小学校、中学校、保育所) 新築	渡り廊下	屋内体育館 (昭和63年建築) 改修
構造・階数	RC造地上3階 PH1階	新築	
床面積	2,989.70m ²	RC造 地上2階	S造 地上2階
			893.92m ²
			3,892.82m ²



- <凡 例>
- 小学校 (前期課程)
 - 中学校 (後期課程)
 - 図書室
 - 保育所



外觀透視図

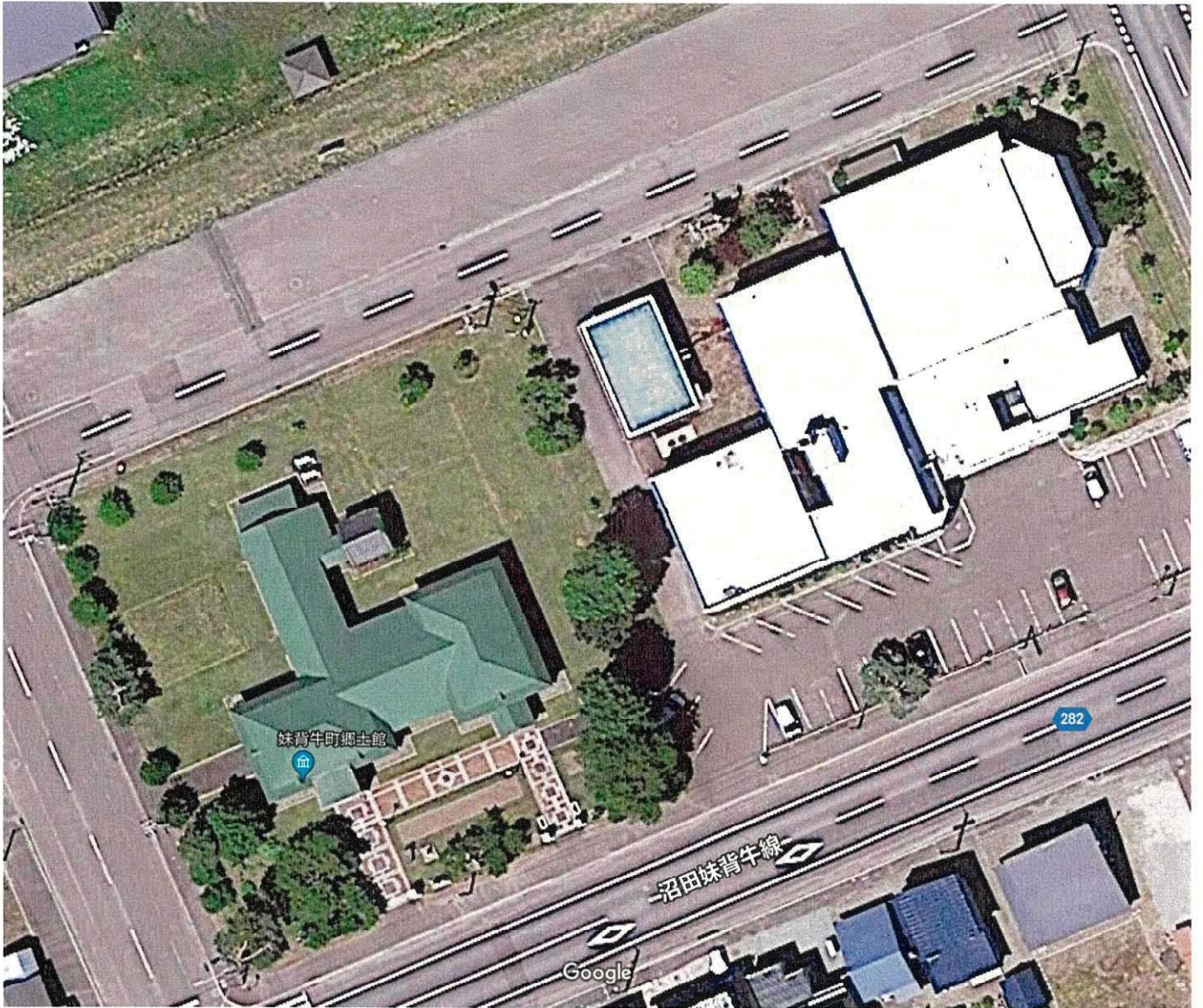


鳥観図









地図データ ©2022、地図データ ©2022 10 m

公共施設の複合化による効果

- 公共施設に新たな機能が複合化されることにより、以下の効果が期待されます。

新たなニーズへの対応

地域のニーズから公共施設に
新たに付加する機能を検討

新しく施設を整備するよりも
低コストでニーズに対応可

地域住民の交流の活性化

多世代の地域住民が利用できる
スペースを用意

世代を超えた交流を
生みやすい環境を提供

- 公共施設に新たな機能を複合化する際には、学校など用途によっては安全、防犯面に配慮することが必要です。
以下のようなセキュリティ対策を講じることが考えられます。

動線の分離

地域住民が利用できる出入口を
制限することで、
児童・生徒の安全を確保

地域の見守り

地域住民によるボランティアを
活用し、住民の目で児童・生徒
の安全を確保

公共施設の複合化(焼津市の事例)

焼津市立東益津小学校

- 校舎を建替えた際に、小学校と公民館を複合化し、世代間交流の拠点として活用



図書館と家庭科室は公民館と共用、パソコン室、図工室、音楽室は地域に開放を行っている。



多目的ホールでは、高齢者学級と小学校4年生とのパートナー交流事業や、お母さんとの給食交流などの世代間交流を促進し、学校敷地内に設置されたメリットを生かした事業展開を行っている。

出所:焼津市立東益津小学校ホームページ

集約化のポイント

- 小学校と公民館を複合化するだけでなく、様々なコミュニティ活動や世代間交流を促進する学校教育、生涯学習のプログラムを実施することで、施設利用者間の交流を実現している
- 校内5ヶ所の防犯カメラ、図書館パートナー30名、安全パートナー27名により子どもたちの見守りを実施

施設・設備の共有と活用



<共に活用>

○共有施設（児童と地域の人たちと共に活用）・・・図書室・家庭科室

<相互に有効活用>

○学校施設の活用（授業時以外の人たちに講座等で開放）

パソコン室・音楽室・図工室

○公民館施設の活用（児童・教職員が利用）和室・ふれあいホール・会議室

その他

セキュリティー（安全面）



○校内5ヶ所に設置された防犯カメラの映像は常のモニター画面でチェック

○図書館パートナー30名、安全パートナー27名、子供たちを見守り、声をかけてくれる

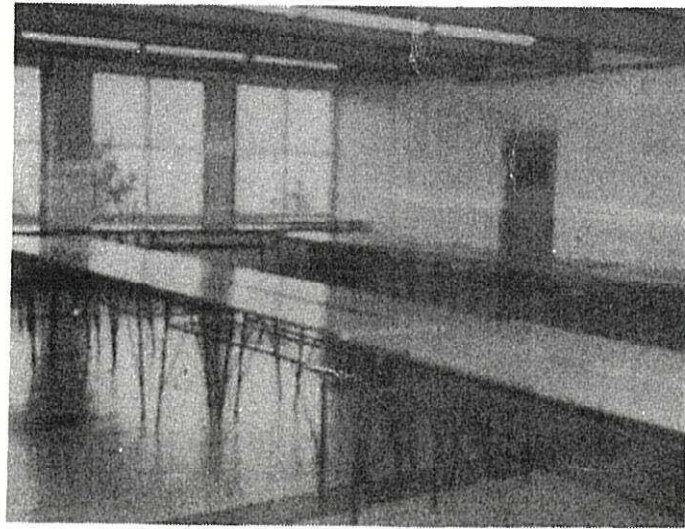
妹背牛町公民館要覧



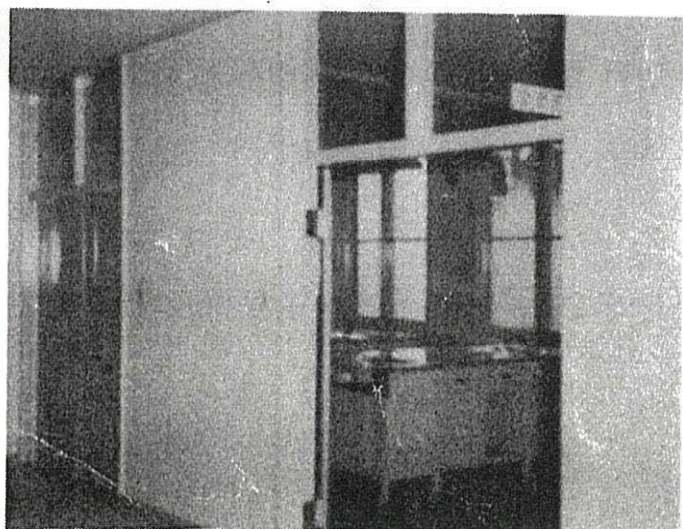
妹 背 牛 町

工 事 概 要

位 置	雨竜郡妹背牛町字妹背牛 2 4 7 番地	
敷 地 面 積	2 . 8 3 7 m ²	
構 造	鉄筋コンクリート 2 階建, 1 部塔屋	
建 築 面 積	1 . 5 3 9 . 9 9 m ²	
床 面 積	1 階	1 . 0 4 1 . 2 2 m ²
	2 階	4 8 8 . 5 8 m ²
	塔 屋	9 . 9 9 m ²
工 事 費	7 3 . 9 5 2 千円	
	内 訳	建 築 工 事 4 8 , 9 3 2 千円
		電 気 設 備 工 事 9 , 7 5 8
		給排水衛生暖房 設 備 工 事 1 5 , 2 6 2
着 工	昭和47年 5 月 25 日	
竣 工	昭和47年 10 月 20 日	
設 備 工 事	電 気・インターテレホン・放送設備・照明 給排水衛生・浄 化 槽 暖 房・スチーム暖房	
設 計 管 理	株式会社 中原建築設計事務所	
工 事 請 負 業 者	建 築 工 事	畠山建設株式会社
	電 気 設 備 工 事	末広屋電機・大友電気共同企業体
	暖房・給排水衛生設備工事	北空知管工事協同組合



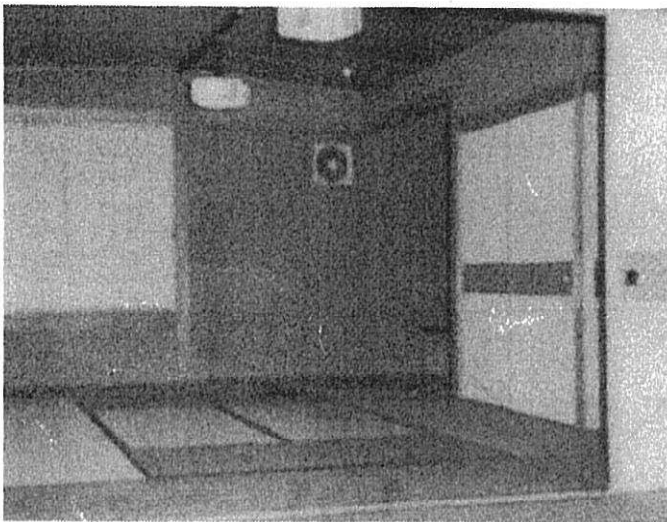
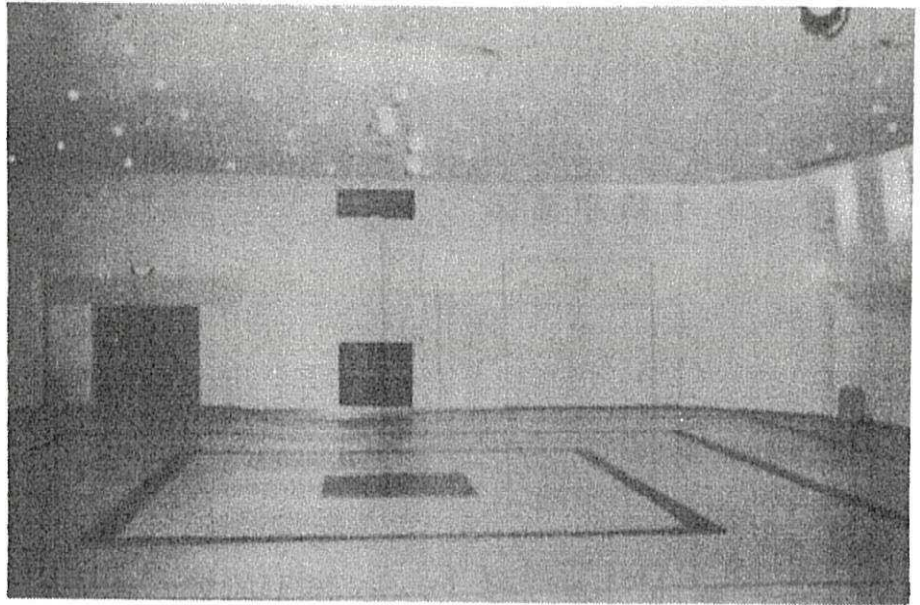
大会議室 講習会等多目的に利用



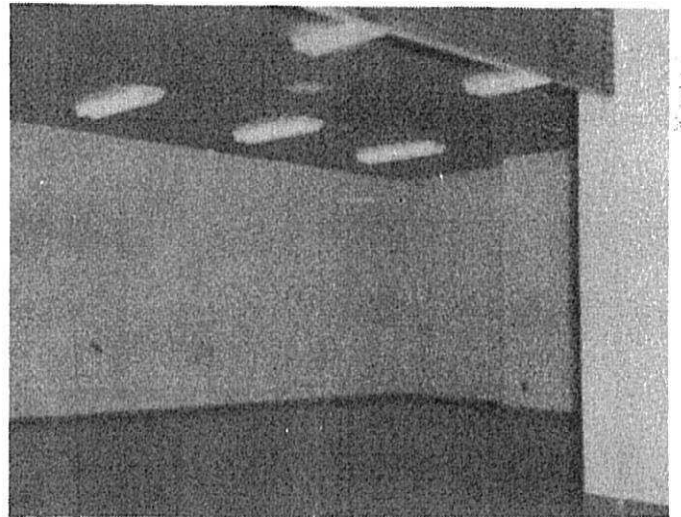
調理実習室

講 堂

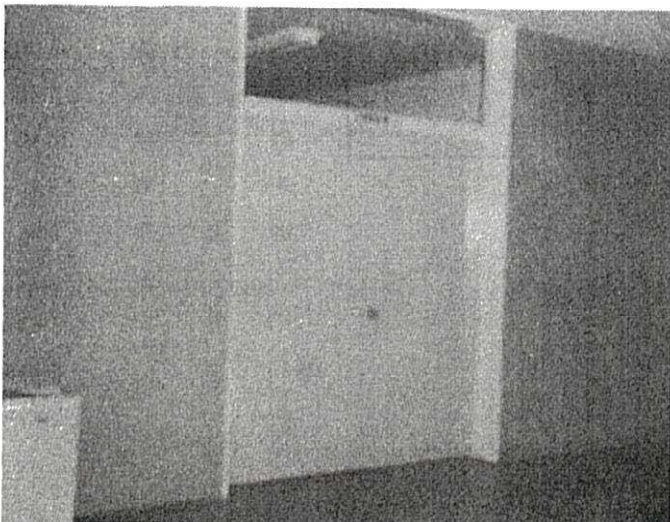
講演・演芸・祝賀・記念式
等の会場
(300人収容 放送設備完備)



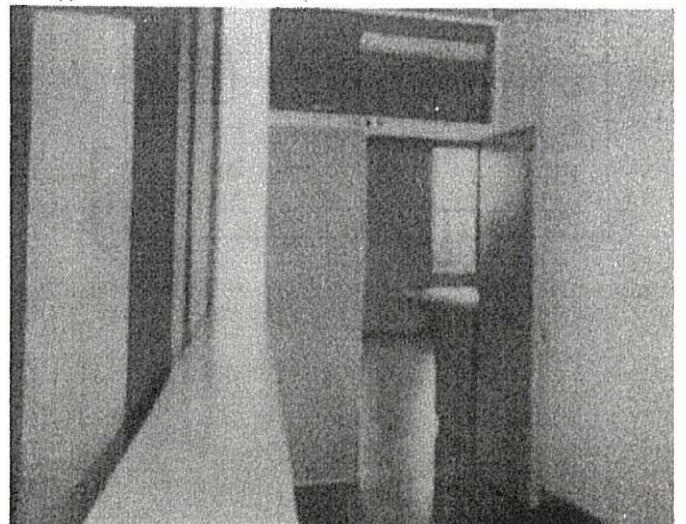
第二, 三研修室, 老人, 茶道, 結婚式等の会合に利用



郷土資料展示室 先人の文化財等を展示



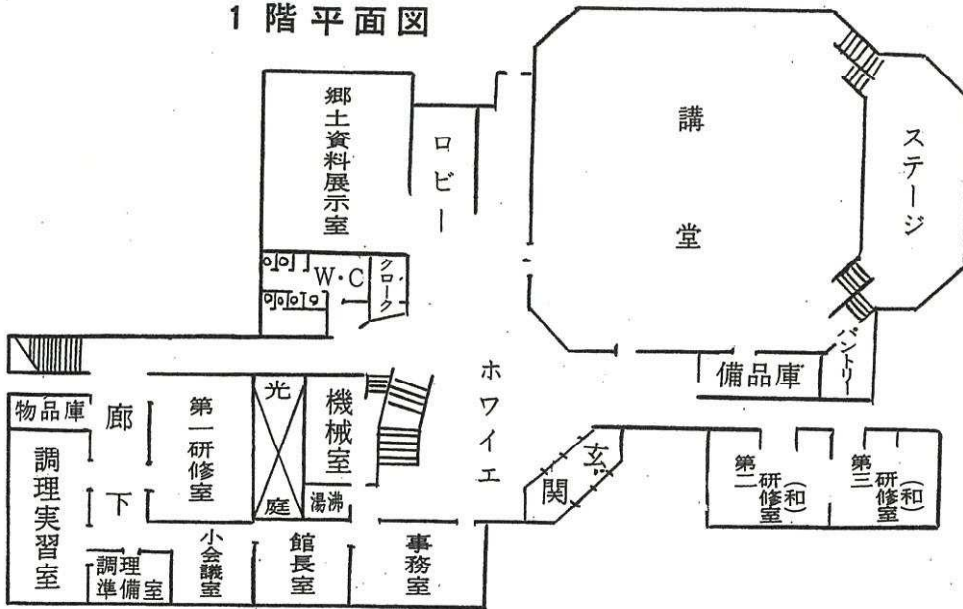
視聴覚室 フィルム等視聴覚教材を利用する研修の場



図書室 図書等の閲覧, 貸出し等に利用

面積表

1階平面図



1 階		
玄関	5.45	m ²
講堂	318.94	
ステージ	55.66	
郷土資料展示室	64.50	
第1研修室	36.20	
第2, 第3研修室(和)	46.25	
調理実習室	37.80	
調理準備室	12.60	
館長室	22.75	
事務室	27.75	
小会議室	18.90	
備品庫	19.70	
パントリー	11.83	
クローク	4.72	
湯沸室	3.93	
便所	20.43	
物品庫	6.30	
機械室	19.00	
ホワイエ, ロビー, 廊下, 階段, 他	308.71	
計	1,041.42	m ²
2 階		
視聴覚室	76.50	m ²
視聴覚準備室	26.25	
機械室	18.75	
図書室	69.54	
書庫	6.50	
大会議室	113.40	
和室	37.80	
便所	13.50	
物品庫	2.64	
ロビー, 階段, その他	123.70	
計	488.58	m ²
塔屋	9.99	m ²
合計	1,539.99	m ²

2階平面図

